

伊賀構想区域における病床整備等について

岡波総合病院の移転について

病院移転後の概要

- 新築移転日 令和5年1月(予定)
- 住所 伊賀市上之庄1597番2
- 病床数 一般病床335床
(うちICU 10床、回復期リハビリテーション病床 50床、地域包括ケア病床 48床)
- 診療科
内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病外来、小児科、呼吸器科、神経内科、放射線科、外科、整形外科、
脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔科、皮膚科、婦人科、
心臓リハビリテーション外来、麻酔科、肛門科、人工透析センター、リハビリテーション科

移転のねらい

- ・老朽化による現病院の耐震性に問題 早急に建て替えの必要性
- ・地域から救急医療を支える基幹病院としての役割を期待されており、移転先は伊賀市が提唱する救急医療強化ゾーンに該当
- ・伊賀名張サブ保健医療圏を考えたうえで、幹線道路(名阪国道、国道368号)に近接
名張市とのアクセスも良好で、伊賀市地域医療戦略2025に則する

強化する機能

- ・MRIを1台新設し、計2台とすることにより待機患者の解消を図る。
- ・血管撮影装置を1台新設（頭部、腹部血管領域専用）し、計2台とすることにより血管内治療の充実を図る。
- ・増加する血液疾患に対してクリーンルームを5床増床し、更なる感染防止に努める。
- ・従来3つあったICUを1箇所に集約し、重症患者に効率的かつ適切な医療サービスを提供。

救急の24時間365日体制の実現に向けた取組を強化

伊賀地域における急性期医療全般を担うとともに、急性期疾患受入増加に伴いポストアキュートの強化の観点から、回復期機能の充実に取り組む。

病床機能報告上の報告見込み

病床機能	R3.7時点		移転後（見込）
高度急性期	0床		10床（+10）
急性期	249床		227床（-22）
回復期	50床		98床（+48）
慢性期	36床		0床（-36）
合計	335床		335床（±0）